

【橋本鏖太郎像 台座刻字 翻刻】

翁鏖太郎ト稱ス族ハ橋本知多郡横須賀
ノ人明治三年八月十日生ル資性摯實力
ヲ地方自治ニ盡ス者四十餘年其ノ間八
タビ町長ト為リ再タビ本縣町村長會長
ト為リ五タビ縣會議員ト為リ僉令名ア
リ推サレテ其郡部會議長ト為リ機要ニ
参畫シ貢獻スル所多シ夙ニ本郡ノ尾南
ニ僻在シテ風氣ノ開ケザルヲ慨シ主ト
シテ道路ヲ闢キ橋梁ヲ架シ以テ通ゼザ
ルヲ濟フ是ニ於テ産業興リ教育振ヒ能
ク今日ノ富庶ヲ致ス者翁ノ卓識深慮提
撕ノ功ニ歸セザルヲ得ズ是以テ不朽ニ
傳フベシ茲ニ同志胥ヒ謀リ像ヲ鑄リ翁
ノ壽ヲ為シ後人ヲシテ矜式スル所アラ
シムトイフ

昭和九年五月

【読み下し・現代語訳】

おきなりようたるう しよう ぞく
翁 鐔太郎ト稱ス族ハ 橋本 知多郡横須賀 ※橋はつくりが高(はしご高)

おきな りようたるう
翁の名は鐔太郎で、姓は橋本、知多郡横須賀

ひとめいじ ねん がつ かうま しせいとじつりよく
ノ人明治三年八月十日生ル資性摯實力

の人で、明治三年八月十日に生まれた。生来まじめで実直であり、その力

ちほうじち つかわ は よねんその かんはち
ヲ地方自治ニ盡ス者四十餘年其ノ間八

を四十年余りもの間地方自治に尽くした。その間に8

ちようちよう な ふた ほんけんちようそんちようかいちよう
タビ町長ト為リ再タビ本縣町村長會長

回町長となり、2回愛知県の町村長會長

な ご けんかいぎいん な みなれいめい
ト為リ五タビ縣會議員ト為リ 僉令名ア ※僉は異字体

となり、5回愛知県會議員となり、皆からの良い評判があり

お そのぐんぶかいぎちよう な きよう
リ推サレテ其郡部會議長ト為リ機要ニ

すいせん
推薦されて(県會議員の) 知多郡部会の議長となり、その中心に

さんかく こうけん ところおお つと ほんぐん びなん
参畫シ貢獻スル 所多シ夙二本郡ノ尾南 ※所は異字体

さんかく こうけん
参画して多大な貢獻をした。翁は以前から知多郡は尾張の南の地と

へきさい ふうき ひら がい しゅ
ニ僻在シテ風氣ノ開ケザルヲ慨シ主ト

へんぴ
いう辺鄙な場所にあるので人々の氣風が開かれていないことを嘆き、主に

どうろ ひら きようりよう か もってつう
シテ道路ヲ關キ橋梁ヲ架シ以テ通ゼザ

きず か
道路を築き、橋を架けることで、交通の便を

ルヲ濟フ是ニ於テ産業興リ教育振ヒ能

整えた。これによつて産業が興り、教育が振興して

ク今日ノ富庶ヲ致ス者翁ノ卓識深慮提 ※致は異字体

今日の繁榮につながつた。これは翁の卓見と深くめぐらした考えや教え導き

撕ノ功ニ歸セザルヲ得ズ是以テ不朽ニ

の功績によるものであり、このことは末永く

傳フベシ茲ニ同志胥ヒ謀リ像ヲ鑄リ翁 ※茲は異字体

伝えていくべきである。ここに同志と互いに相談し、像を鑄造して翁

ノ壽ヲ為シ後人ヲシテ矜式スル所アラ ※所は異字体

のお祝いとし、後の人々の手本となることを ※矜式：つつしんで手本にすること

シムトイフ

願うものである。

昭和九年五月